

礼拝プログラム □主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 179番
- *交読文 …………… 35番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 174番
- 礼拝のための祈り ……… 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 …………… 233番
- メッセージ …………… いのちの水が川々となって(エゼキエル 47:1-12)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 169番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

かわく___は、わたしのところにきて飲むがよい。
 わたしを信じる___は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となつて流れ出るであろう。(ヨハネ 7:37-38)

御使はまた、水晶のように輝いているいのちの水の川を___に見せてくれた。
 この川は、神と小羊との御座から出て、都の大通りの中央を流れている。
 川の両側にはいのちの木があつて、十二種の実を結び、その実は毎月みのもり、その木の葉は___をいやす。のろわるべきものは、もはや何ひとつない。神と小羊との御座は___の中にあり、___は彼を礼拝し、御顔を仰ぎ見るのである。
 ___の額には、御名がしるされている。夜は、もはやない。
 あかりも太陽の光も、いらぬ。主なる神が___を照し、そして、___は世々限りなく支配する。(黙示録 22:1-5)

聖霊が臨む時、私達は力を受ける。聖霊は、いのちの君なるお方・キリストをあらわし、表現し、証する霊であり、それが私達の内に宿る時、キリストのいのちが、腹の奥底から、泉のようにこんこんと湧き上がる。それによって根源的な霊の渇きは癒され、潤され、いのちの水は周囲へと溢れ、流れ出し、周りも潤すものだ。主は、泉が溢れ潤す如く「いのちの君」であり、それは旧約でも、新約でも、永遠の天国でも、同じだ。前回、新約・ヨハネの福音書からその事を学んだが、今回は旧約・エゼキエル書から学びたい。

エゼキエルは、バビロン捕囚下のイスラエルの民に、主の言葉を伝える預言者として用いられた。この時代、ソロモンが建てた豪華絢爛な神殿は、イスラエルが代々犯して来た罪の故に、異邦人に破壊され尽くした後だった。神殿が打ち壊されてから十四年後、彼は、主が見せられた幻の内に、非常に高い山の上に建てられた、人のものならぬ神殿へと上げられた。(エゼキエル書 40章)

『神がわたしをそこに携えて行かれると、見よ、ひとりの人がいた。その姿は青銅の形のように、手に麻のなわと、測りざおとを持って門に立っていた。…その人の手に六キュビトの測りざおがあった。そのキュビトは、おのおの一キュビトと一手幅とである。』(3-5節) この、主の使いが持つ測りは、世の測りとは違ふ。40章以降、この、**人のものならぬ測りざお**を用い、主が示された新しい神殿、すなわち罪ある人間が建てたものではない神殿を、主の測りで測って行くのだが、その内、色々な示しや預言が与えられて行く。そうして神殿の入り口に連れ戻されると、水が神殿の敷居の下から流れ出していた。(47章)

人のものならぬ主の建てた神殿を、主の測りに従って測って行くなら、いのちを潤す水が流れ出して来る。まことの神殿は、イエス様であり(ヨハネ 2:21)、この神殿を、**主の示す物差し、すなわち御言葉によって正しく測り、寸法もきっちり正しく調べて行くなら、行く程、いのちの水、潤す水が内から流れ出して行くのだ。**そして、流れ出したいのちの流れを、主の測りで測る毎に、その潤す水、いのちの水は、**どんどんかさが増して行く。**最初は足首ほどから、次にひざ程、次に腰ほどに、そして、渡る事にできない川にまで至る。『彼はわたしに「人の子よ、あなたはこれを見るか」と言った。それから、彼はわたしを川の岸に沿って連れ帰った。』(6節) 私達も、流したら流しっぱなしではなく、結果、どんな実を結んだか、見に戻るべきだ。水は、神殿の聖所から流れ出ている。まことの神殿はイエスキリストであり、私達もイエス様を信じる時、「**腹(コイリア:下腹、子宮、知情意の座)**」の奥底から、**生ける水が川々となって流れ出る**ようになる。(ヨハ 7:38) その”水”が入るなら、その水は良くなるため、生き物が群がるようになり、非常に多くの魚がいるようになる。この水が流れこむなら、死海さえいのちが多くなり、海岸には漁師達が住むようになり、網を引く場所となる。死海のようなサマリヤの女も、イエス様を受けた時、いのちが湧き出し、いのちが群がるようになった。

『ただし、その「沢(ビツサァー:沼地、湿地帯)」と「沼(ゲベー:貯水池、プール)」とは清められないで、塩地のままで残る。』(11節) 水が流れず留まっている所、人為的に水を貯めこむような所は、良ならず、塩のまま残ってしまう。どんなに良質の御言葉が流れて来ても、どんなにイエス様の魅力を教えられても、ただ受けるばかり・頂くばかりで、流し出さないなら、塩のまま残り、死海のように、いのちがいなくなってしまう。御言葉のいのちが流れこんで来たなら、それが口まで溢れているなら、留めて置いてはならない。御言葉も、ただ暗記するだけで、宛先が明確でないなら、宛先不明の手紙のように、どこぞに落ちてしまうのだ。『川のかたわら、その岸のこなたかなたに、食物となる各種の木が育つ。その葉は枯れず、その実は絶えず、月ごとに新しい実がなる。これはその水が聖所から流れ出るからである。その実は食用に供せられ、その葉は薬となる。』(12節) 毎月実が成る…一体どれだけ多産で、いのちに溢れているのだろうか。私達の内に、キリストという、生ける水のいのちの泉を据えるなら、御霊の実は何も頑張らずとも、自然と、絶える事なく、実らせ続けるものである。そしてそれは自分ばかりでなく、周囲も潤し、癒やすものとなる。人の建てた神殿を、人の物差しで測っても、ただ疲れるしか無いが、人のものならぬ、主の建てた神殿・イエス様を、主の物差しである御言葉に従って測って行くなら、いのちを潤す水がどんどん流れ出して来る。この、いのちの源・イエス様を御言葉で正しく測り、泉を湧き出させ、湧き出る水を測って、ますます流し出し、多くのいのちと実りを獲得して行く皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00
聖書の学び会(詩篇) 15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈禱会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈禱会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト